

第2回策定委員会に係る質問・意見および回答

【溝口委員】

質問・意見	回答
<p>資料4 現状と課題 <もらさないためのしくみづくり> 住民と民生委員、行政の連携の大切さはもちろん分かるが… 例えば、中途から一人暮らしになられた50歳前後の男性がアルコール依存症で酒の匂いをさせながら運転されている。 近隣住民としては、事故もないので、民生委員に連絡するかどうか躊躇する。 プライバシーの保護と住民の安全の関係、通報マニュアル的なものがあるのでしょうか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特に通報マニュアルはありません。 民生委員には民生委員法第15条により守秘義務が課せられているため、通報者の情報が漏れることはありません。例示のような当事者に関する情報は、必要に応じて関係機関で共有し対処することとなります。
<p>資料5 市民懇談会 <石部小学校区> 旧町や住宅団地は自治会加入率もそこそこで、向こう三軒両隣の活動もかなりしっかりと残っている。 しかし、マンション、アパートが多くある中心部は、自治会加入はほとんどなく、支えあい活動的なことはほとんどない。 数年前、旧町から例大祭や愛宕祭りへの参加案内を送ったが、大人の参加はあまり見られなかった。 世代を超えた交流の、市内での好事例の一部を冊子(「滋賀の暮らし 支え合いの場」)で照会しているが、もっと身近な、特に新旧の交流の好事例の照会が欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ご意見のような新旧住民の交流等の好事例の把握に努め、水平展開につながるよう情報の提供・共有に努めます。 また、さまざまな支えあい活動の先進事例等についても、まち協や区、事業者に対し積極的な情報提供に努めていきます。
<p>資料6 アンケート <事業所> 介護保険が始まり、地域とのつながりは必然的なものとなった。特に、在宅系のサービス事業所は、介護保険外の地域資源の活用を求められ、つながりが増えかつ強くなっている。 もちろん、施設系でも数年前の社会福祉法人の改革以来、地域貢献活動が広まっている。 また、「こなんほほえみネット」でも、認知症高齢者の行方不明時の搜索協力などを実施して、地域支えあい活動を行っている。 これから、障がい系施設、事業所と連携、協力して活動を行えば、地域とのつながりがさらに進むと思う。障がい系の一体的なネットワークが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月の社会福祉法の改正による社会福祉法人制度の見直しにより、地域における公益的な取組が求められ、本市においても特に高齢分野において地域貢献活動が行われています。 第四次の計画においても、「社会福祉法人による地域貢献の推進」を取組の一つとして掲げたいと考えており、高齢分野における更なる活動の促進と、障がい分野においてもネットワーク化を働きかけ、地域貢献活動の取組を促していきたいと考えています。

【早川委員】

質問・意見	回答
<p>湖南省はどこの地域でも車を運転できないと移動手段に誰もが困ります。一般タクシーは高額で日常的に使えず、移送サービス（うぐいす）も台数や曜日、時間（朝・夕）等、限界があります。まず見直すのは、ほとんど利用客のいない「めぐるくん」です。</p> <p>①路線ルートマップがわかりにくい。一つずつ路線を別にして、時刻表も字を大きくする。（野洲市参照）</p> <p>②乗り換えなどわかりにくい。ネットで、乗る場所と降りる場所を入れて検索できるようにする。</p> <p>③今、どこを走っているか検索できるQRコードをつくる。</p> <p>④利用客の乗車帯が多い時間に手厚く走らせる。</p> <p>⑤今後車両を入れ替えるときは、猫にするくらいなら、路線別に色を加える。もっと小型化する。</p> <p>本当に「めぐるくん」はもったいない地域の資源。使いやすくすればもっと高齢者だけでなく乗車が増えると思う。</p>	<p>①現在、令和4年4月の時刻改定にあわせて、改善に向けた検討を進めています。</p> <p>②現在、Google マップの路線検索に表示ができるよう進めています。</p> <p>③運行情報が検索できるロケーションシステム導入について検討を進めてきました。費用対効果等の課題から引き続き検討して参りたいと考えています。</p> <p>④地域交通を担うコミュニティバスは、JR各駅の利用最適化となるよう交通結節点として運行時刻を設定し、市内循環しています。現在、新たな時間帯の増便計画は予定していませんが、利用者の推移に応じて検討して参ります。</p> <p>⑤本市では13車両で運行していますが、バリアフリーに対応していない古いバスから順次更新していく計画です。路線別の着色につきましては、市内全域に13路線を設け、バスは鉄道の時刻表に合わせ様々な路線やルートで運行しています。このため、路線別に色分けすることは難しいと考えていますが、引き続き利用者に分かりやすい運行となるよう検討して参ります。</p> <p>運行車両の小型化につきましては、湖南省は通勤・通学にバスを利用されている方が多く、小型車両になると定員を超え乗車できない利用者も想定されます。また、乗車密度の低い時間帯の小型化は可能と考えますが、予備車両などバス台数を増やす必要が生じますので、費用対効果など多角的に検討して参りたいと考えています。</p> <p>ご指摘の猫などのカスタマイズ車の導入は計画していませんが、園児等の小さいお子様に大変好評であり、乗車等のお問い合わせもあります。このことから、民間様の協力やラッピングバスなど検討して参りたいと思います。</p>